

# 地震対策は万全か！

## 家庭の防災チェックを



このたびの阪神大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被害を受けられました多くの皆様は、心からお見舞いを申し上げます。

死者五千人を超え、空前の大惨事となった阪神大震災、一月十三日現在警察庁のまとめでは死者五千二百九十六、行方不明者四、負傷者三万三千二百二十一。

南国市でも神戸の実姉を訪ねていた方が犠牲になり亡くなられました。現在、住居をなくすなど被災された方々が、市内で避難生活を送っています。

直下の一撃。史上初の震度七。高速道路、鉄道、建物の崩壊、商店街の全焼、大規模な土砂崩れ、続く余震、都市災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。

この地震で高知も震度四を記録しました。昭和二十一年の南海大地震はM八、次の南海地震は早いと言われます。今回の大地震の教訓をどう受け止め、今後、どのように生かすのか。南国市の防災対策の現状、また家庭の防災チェックについて特集します。

### ■どうすれば被害を最小限に

地域住民の生命、身体および財産を災害から守り、土地の保全と、市民生活の安全を確保するため、南国市では「地域防災計画」が作られています。この計画の中では、災害の発生を未然に防ぐために、防災に関する施設の整備、点検及び防災に関する訓練についての「災害を予防するための計画」や、災害の発生を抑制したり、拡大を防止し、応急対策や救助活動を円滑に行うための「災

害応急対策」、また市民生活の安定および経済的、社会的活動の早急な回復を図るための「災害復旧計画」などが定められています。

震災対策計画は、昭和二十一年十二月二十一日に発生した「南海道沖大地震」に相当する規模の地震を基に家屋の倒壊、津波、出火などの被害を想定しています。阪神大震災においてこそそうですが、自然災害は頻発、巨大化しています。

ひとたび災害に見舞われますと、多くの死者と多大の被害をもたらすこととなり、日ごろから、非常時の危

急管理について、大きな関心と必要の対策をもたなければなりません。震災対策計画が盛り込まれてはいるものの、直下型地震となるとその予知は極めて困難とされます。被害をできるだけ小さくする防災を充実しなければなりません。震度七という激震を教訓に計画の見直し、市内各地の避難所や避難ルートなどの再点検も進められています。

### ■すわつ、大地震発生！

家の中は、家具などの転倒、落下と、割れて飛び散った窓ガラスなどの破片が散在します。また、あちこちで火災が発生し、更に地域をなめるように広がります。家の周りには、ブロック塀などが倒れたり、自動販売機が倒れたり、広げ物など頭二からの落下の危険もあります。津波についても正しい情報が必要です。地震が発生したら、まず落下している行動ができるよう、いざというときのために正しい心構えを身につけておくことが大切です。

### ■備えあれば憂いなし

いざというときに、自分を自分で守るための自衛策や心構えについて

日ごろからよく身につけましょう。

### 1 身の安全

①揺れを感じたら、丈夫な机などの下に身をかくしたり、外を歩いている場合など、まず頭をかばうことが大切です。何より致命傷を避けることが一番です。

②玄関などの戸を開け、逃げ口の確保をしましょう。

③あわてて外へ飛び出すのは危険です。周囲の状況をよく確かめましょう。

### 2 火の始末

①グラップときたら、すばやく火を消しましょう。

②万一出火したら、ボヤのうちに消し止めましょう。そのために、定期的な消火器の点検など忘れずに。

③声をかけあい、協力しあって初期消火を、歩行中



南国市防災訓練の様子

①路地や塀きわは、瓦が落ちてきたり、ブロック塀などが倒れたりして危険です。できるだけ近寄らず、広い道なら中央へ。

②屋や川べりは揺れやすくなっている場合があります。近寄らないように。

### 4 車を運転中

①道路の左側路肩や空地などに停止し、エンジンを止めましょう。その際、鍵はつけたままドアロックはしないように。避難は徒歩でしましょう。

②消防車や緊急自動車が行きやすいよう、中央は必ず空けておくことが大切です。

③カーラジオで災害情報の収集を、街中に行ったら

①デパートやスーパーマーケットの中では、頭を覆い、太い柱や壁のそばに身を寄せ、店内放送などによる係の指示に従う。



各家庭に備えておきたい非常用装備品

②耐震構造のビルなどの中に入る。

③バス、電車などの乗り物では、吊り革やすりばちなどにつかまり、急停車や脱線に備えることが大切です。車両アナウンスや乗員の指示に従いましょう。

津波に注意  
津波は津波警報より先に来る場合があります。地震を感じたら、一刻も早く高台へ避難しましょう。

### 7 正しい情報

①ラジオなどの情報に注意し、デマにまどわされないように。  
②市役所、消防署、警察署などの情報に注意しましょう。  
③不用、不急な電話はかけないように。

### 8 避難について

①避難場所と複数の避難経路について確認しておく。  
②離ればなれになったときの連絡

## 阪神大震災 救援義援金

お問い合わせは総務課総務管理係（市役所内線432）まで

### 9 避難用品

地震の被害は広域に及びます。本格的な救助活動が実施されるまでの間、二〜三分を目安に、必要な食料・飲料水などを備えておくことが必要です。電気、水道などのライフラインといわれる生活基盤が寸断されると被害により深刻になります。そのためにも、携帯ラジオ、懐中電灯はもちろん、缶詰・ドライフルーツ、ラーメンなどの食料と固形燃料などの光熱器具も必要です。

また、素早い応急手当ができる救急薬品なども最低限必要な非常持出品です。そのために、日ごろから家庭で話し合い、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

### ■いざっというとき 子供たちは！

保育所や、学校の授業中、また登下校の場合、子供たちの安全対策はどのようなのだろうか。避難訓練は、それぞれの学校など

